

No. 16-6

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 16 - 6

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		6		作成日		26年 6月 12日		
事務事業名		巡回相談員派遣事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名	学校教育課		係名	
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	3-1-1 幼児教育・学校教育の充実						予算費目	会計		一般	
									款		10	
主要施策	④ 特別支援教育の推進						項		1			
							目		2			
個別計画名												
住民との関わり												
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	町内の幼保小中の園児、児童、生徒及びその保護者と教職員。				一人ひとりの教育的ニーズに応じた、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行ない、適切な子どもの育成と保護者の育児不安の解消などを図る。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				特別支援教育士、学校心理士を週1日の割合で要請された学校等に派遣または教育相談を実施している。子どもや保護者の状況に応じて、巡回相談員を派遣したり、教育相談を実施したりして、個々のニーズに応じたカリキュラムを作成するための指導助言を行う。							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 19年度		～		平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等												
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成26年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		1,606			1,606			1,786				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		1,540			1,540			1,720			
直接事業費（千円）A		1,540			1,540			1,720				
人件費（千円）B		66			132			132				
内訳	一般職員（人・千円）		0.01 人 66		0.02 人 132		0.02 人 132					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位		25年度		26年度		27年度	
							目標 実績		（目標）		（目標）	
	①											
	②											
③												
説明		個別の教育支援計画の策定や個別の指導計画の作成が第一歩であるが、一人ひとりの教育的ニーズを把握して、医療や福祉等の関係機関等と連携協力のもと、乳幼児期から学校卒業まで見据えた教育支援計画を策定することは大変難しいことである。さらに、計画を立てることができても、どれだけ適正なものであるかはなかなか判断できない。毎年実績や研修を積み上げることにより成果が出るものと考えている。										

事業名	巡回相談員派遣事業	シート作成課	学校教育課
-----	-----------	--------	-------

一次評価者	学校教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
	<b>必要性</b>	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	専門性のある巡回相談員を学校・園に派遣することは特別支援に極めて重要なことです。
	<b>有効性</b>	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	専門家からの指導・助言、又は発達検査の実施、教育相談は非常に有効です。
	<b>達成度</b>	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	巡回相談や教育相談を利用することで、保護者や教職員の負担軽減につながっている。
<b>効率性</b>	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	費用対効果という点では、目に見えにくい部分があるが、子育て支援という観点からも有効な事業といえます。	

**本事務事業の実施適切性の説明**

特別支援教育を進め、いわゆる途切れのない支援を行っていくためには、専門性をもった人材を確保し、事務局体制を整備することが必要である。現在は、特別支援教育士、学校心理士を週1日の割合で要請された学校等に派遣または教育相談を実施しているが、要請件数・相談件数も年々増加しているため、町として常駐の職員を確保する必要性が高まっている事業です。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
今後の改革・改善目標	巡回相談・教育相談の要請件数が年々増え、すべての要望に応えることができていない状況です。平成25年度から発達支援室が立ち上がり、相談場所ができたことで要請が解消されていくと思われまます。当面現在の方法で継続していく方向で考えます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	4	B	A
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
コメント	特別支援教育や途切れのない支援を行っていくためには、本事業は必要不可欠である。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--